

令和2年度



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai1/

令和2年6月1日発行

『〇年〇組物語』

校長 中村 智

緊急事態宣言が解除され、6月1日より学校再開となりました。6月の始まりとともに、1年生から6年生までの子どもたちの声が校内に響きます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約3か月にわたる一斉臨時休業を行ってきました。この間、保護者の皆様には、お子様の健康管理、家庭学習における励ましや指導、またプリントやメールを通しての様々なお知らせやお願いに対して、都度ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

学校再開にあたり、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、職員でもいろいろなことを検討してきました。

1日からの分散登校については、学級を二つのグループに分けて、午前中の隔日登校としました。一日あたりの授業時間を短くして、前半グループと後半グループに分け、毎日登校するという案もありましたが、子どもたちが、安心して安全に学校生活を送れるように、児童や地域、各ご家庭の実態を踏まえてこのようにいたしました。安全に登校し、子どもたちが第二期（6月15日～）以降の生活へスムーズに移行できるようにするためには、通常の登校時間に登校し、半日学校で過ごすことがいいのではないかと職員で考えたからです。時間数も通常の45分間を10分短くして、35分間授業としました。時間を短くすることで、子どもたちの集中力を高めていきたいというねらいがあります。また、35分間にすることで、午前中に5コマ設定することができ、いろいろな教科を学ぶことができます。またAとBのグループ分けは、ごきょうだいと同じグループになるように調整を図りました。

他にも、登校してきた児童の動線をどうするか、三密を防ぐためにはどうするか、子どもたちが健康に安心して過ごすためにはどうすればよいか、学校全体で、あるいは学年で、今できる中でよいと思われる方法を考えて子どもたちを迎えました。

これからも子どもたちの様子をよく観察し、保護者の方からのご意見もいただきながら教育活動を進めてまいります。

不安を抱えている児童の気持ちを受け止め、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、横浜市教育委員会が作成推奨する「学校再開スタートプログラム」も実施しながら、「心のケア」と「新しい仲間づくり」をベースとした取組を大切にしていきます。

いよいよ、本格的に各教室で『〇年〇組物語』が始まります。洋光台第一小学校の子どもたちの良さや頑張りをたくさん見つけていきたいと思えます。